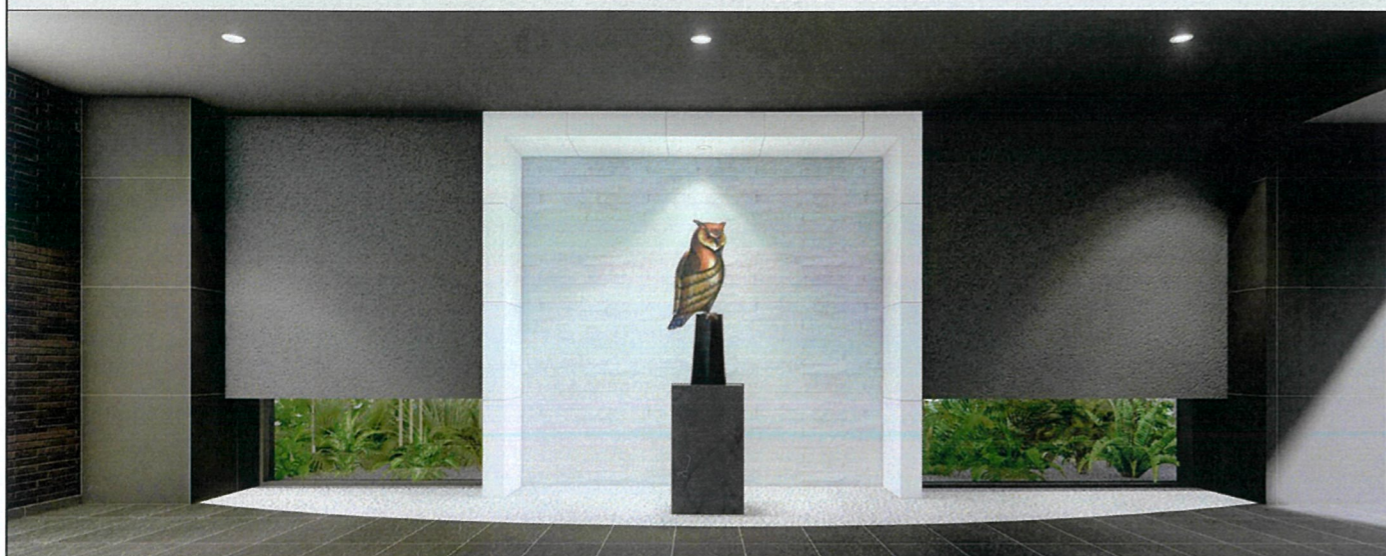


作品の設置方法を選んで、チェックをつけてください

台座置き 壁付

※台座置き作品は台座のサイズも分かるように記入すること
※台座のサイズは自由

作品 および 設置イメージ・説明・制作方法



背景の緑の前に置くことで森の中のフクロウをイメージしています。制作方法は、日本で古くから仏像制作などに用いられた伝統技法である乾漆技法を用います。

漆と麻布を何層にも貼り合わせて造形し、表面には漆が塗り重なっている構造なので中は空洞で軽く、丈夫です。

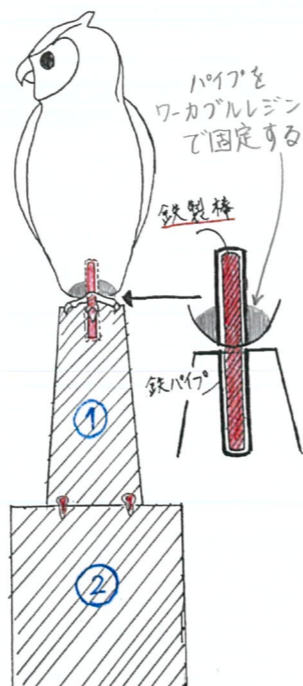
展示台との設置は、フクロウの足の付け根部分と展示台に穴を8センチほど開け、中に鉄製のパイプを通します。そこに鉄製棒をジョイントすると安全に設置できます。必要によっては棒とパイプを接着剤で接着します。

展示台1と展示台2はネジで固定します。

- ①フクロウの目は黒い天然石モリオン(魔除け、浄化の効果)の周りに蒔絵を施しオレンジ色にします。
- ②顔周り、羽根部分は金研ぎ出し蒔絵をします。
- ③背中、頭部の部分は乾漆粉を撒いて少しざらつきを持たせます。
- ④腹部は黒漆で艶上げ仕上げにします。
- ⑤額、尾羽部分は螺鈿を貼ります。

作品サイズ・H500×W250×D250mm
台座サイズ・H1100×W350×D350mm

技法イメージ



作品名	杜の黎明	作品NO.	34
素材	漆、麻布、金粉、螺鈿、乾漆粉、天然石	想定重量	2 kg
作品サイズ	横幅 250 × 高さ 500 × 奥行 250 (単位: mm)		

作品コンセプト

大都市東京に住み、目まぐるしい毎日を生きる居住者にとって必要とされるものは何だろうか。その問いに私は癒しと元気を与えてくれるフクロウを提案する。タイトル「杜の黎明」には何か新しい事を始める同世代の人々を応援したいという思いを込めている。

フクロウは古くから幸運をもたらす縁起物として日本人に親しまれている。また、玄関は特に置く場所として良いとされているので、エントランスに位置するという今回の条件には最適だと考えた。フクロウの特徴を残しつつどこから見ても美しい流線形のフォルムでモダンな印象を与え、その上で蒔絵、螺鈿、漆黒の艶上げなど漆芸の伝統技法を随所に施すことで過去から現代の美しさを凌駕する唯一無二の作品に仕上げる。

同じマンションの同居者としていつも住人たちを見守り、日々を豊かに彩ってくれる。毎日心の中で「行ってきます」「ただいま」と言えるような住人の心に寄り添う、そんなフクロウを制作する。

【過去の自分の作品】 ※画像や写真等を配置もしくは貼り付けてください

